

# セキュリティ対策

-45-

安易な他人への許可は禁物

独立行政法人情報処理推進機構（IPA）

では2016年6月に

「パソコンがウイルスに感染している」などの偽の警告画面から電話をかけさせるように仕向けた上で、遠隔操作を受ける際は十分に注意してほしい。

意してほしい。

遠隔操作にはさまざまな方法があるが、

「契約を断ったら、パソコンが再起動しなく

なった」「パソコンがロックされて使えなくなった」など、より悪質な手口も確認されている。

そのため、20年11月の下の三つの条件を満たす必要がある。

①「操作される側」のパソコンで遠隔操作することのリスクを認識し、遠隔操作サービスを受けるときは十分に注意してほしい。

②「操作される側」のパソコンがネットワークに接続され、通信が利用できること。

③「操作される側」のパソコンのIPアドレスがわかること。

④「操作される側」のパソコンの設定やパスワード、サポーターのサービ

ス情報（ID、パスワード）がよく利用されている。操作される側が遠隔操作ソフトをインストールしている。

「自分のパソコン上に遠隔地にあるパソコンの画面を表示して操作ができる」ソフトを使用し、遠隔操作ソフトを利用する際のアカウ

ヤ、サポーターのサービ

ス情報（ID、パスワード）がよく利用されている。操作される側が遠隔操作ソフトをインストールしている。

「自分のパソコン上に遠隔地にあるパソコンの画面を表示して操作ができる」ソフトを使用し、遠隔操作ソフトを利用する際のアカウ

ヤ、サポーターのサービ

ス情報（ID、パスワード）がよく利用されている。操作される側が遠隔操作ソフトをインストールしている。

「自分のパソコン上に遠隔地にあるパソコンの画面を表示して操作ができる」ソフトを使用し、遠隔操作ソフトを利用する際のアカウ

ヤ、サポーターのサービ

ス情報（ID、パスワード）がよく利用されている。操作される側が遠隔操作ソフトをインストールしている。

## 遠隔操作にはリスクも

件を満たしてしまい、遠隔操作が始まったという相談が多く寄せられている。

万が一のトラブルに備えた実践事項

①「操作される側」のパソコンで遠隔操作することのリスクを認識し、遠隔操作サービスを受けるときは十分に注意してほしい。

②「操作される側」のパソコンがネットワークに接続され、通信が利用できること。

③「操作される側」のパソコンのIPアドレスがわかること。

④「操作される側」のパソコンの設定やパスワード、サポーターのサービ

ス情報（ID、パスワード）がよく利用されている。操作される側が遠隔操作ソフトをインストールしている。

「自分のパソコン上に遠隔地にあるパソコンの画面を表示して操作ができる」ソフトを使用し、遠隔操作ソフトを利用する際のアカウ

ヤ、サポーターのサービ

ス情報（ID、パスワード）がよく利用されている。操作される側が遠隔操作ソフトをインストールしている。

「自分のパソコン上に遠隔地にあるパソコンの画面を表示して操作ができる」ソフトを使用し、遠隔操作ソフトを利用する際のアカウ

ヤ、サポーターのサービ

ス情報（ID、パスワード）がよく利用されている。操作される側が遠隔操作ソフトをインストールしている。

「自分のパソコン上に遠隔地にあるパソコンの画面を表示して操作ができる」ソフトを使用し、遠隔操作ソフトを利用する際のアカウ

ヤ、サポーターのサービ

ス情報（ID、パスワード）がよく利用されている。操作される側が遠隔操作ソフトをインストールしている。

機能を確認する。○遠隔操作による作業実施中はパソコンから目を離さず、操作内容を確認する。○作業完了後は、遠隔操作ソフトを確実にアンインストール（削除）する。なお、作業途中に事前説明のない操作がされるといった、不審な動きが見られた場合には無線LAN機能をお

悪意ある第三者



①「セキュリティソフト」と偽って遠隔操作ソフトをインストールするように指示

②遠隔操作ソフトと知らずにソフトをインストールして接続に必要なパスワードなどの情報を連絡

③遠隔操作ソフトと接続情報を悪用して被害者のパソコンを不正操作（個人情報への窃取、なりすましなど）



被害者

遠隔操作ソフトを悪用した被害に遭う例